

学校長様

児童支援専任・生徒指導専任様

特別支援教育コーディネーター様

養護教諭様

令和4年5月23日 第1号

横浜市立浦舟特別支援学校



連携支援だより

本校でも、屋外での学習、外部の講師を招いての学習などコロナ以前の教育活動が戻ってきつつあります。さまざまな制約の中ではありますが、入院中の子どもたちがよりリアルにふれる体験、生活を豊かにできる体験を工夫して日々の教育活動を進めてまいります。

さて、例年連携支援だより第1号は、浦舟特別支援学校の紹介をしております。

浦舟特別支援学校は、横浜市立で唯一の病弱特別支援学校です。医療と連携して、小学1年生から中学3年生までの病氣療養中のお子さんに教育を行っています。

浦舟特別支援学校には4つの院内学級があります。

- 横浜市立市民病院（神奈川区）
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター（南区）
- 横浜市立大学附属病院（金沢区）
- 横浜市立みなと赤十字病院（中区）

また、院内学級がない市内の病院に入院しているお子さんには、訪問指導を行っています。

- 済生会横浜市東部病院
 - 芳生会保土ヶ谷病院
 - 横浜カリアホpital
 - 横浜労災病院
- など（令和4年度）

どの場合も主治医の判断と、本人・保護者の希望が必要です。そのうえで教育相談を経て、転入手続となります。

入院中の学習、気持ちの安定、スムーズな復学に向けて、支援をしています。

復学支援の実際

退院後、地元の学校へ戻る

- ・退院して、学校に行けるのが嬉しい
- ・友だちや先生はなんて言うかな
- ・勉強ついて行かれるかな
- ・体力が戻るまで時間がかかるかも

本人・ご家族

浦舟特別支援学校

双方の不安の解消のために

- ・医療を交えて配慮事項を確認する
- ・入院中の学校での様子を伝える

学校

退院後のお子さんを

受け入れる

- ・帰ってきてくれて嬉しい
- ・みんなと同じことがどのくらいできるかな
- ・つらそうなときはどんな支援をしたらいいのかな
- ・クラスへの説明は・・・？

研修会のご案内

特別支援教育総合センターとの共催で行っている病弱部門研修です。

今年度も集合研修とオンラインによる研修を企画しております。例年、参加していただいた先生方のアンケートをもとに、病弱教育から発信できる内容を考えています。

*研修管理システム Leaf からお申し込みください。

第1回「学校と医療の連携」

～愛着形成に問題がある子どもたち～

日時：令和5年7月26日（水）15:00～16:45

場所：南公会堂

（地下鉄阪東橋下車 徒歩6分）

講師：横浜市東部地域療育センター 所長 高橋 雄一 氏

内容：愛着形成が十分ではないと思われる子どもについてご講演いただきます。わたしたち教員の「子どものよりよい成長を願う気持ち」に、「なぜ」という疑問への自分なりの理解が重なることは、きっと大きな力になるのではないかと思います。ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

申し込み始まっています！

研修コード 23+k23

第2回「病弱教育を通して学ぶ」（仮題）

日時：令和5年10月25日（水）15:30～16:45

方法：オンライン開催

講師：昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授 副島 賢和 氏

*内容は、近くなりましたら連携だよりにてご案内の予定です。



教育相談について

病気が理由で、市内の病院に入院しているお子さん、登校ができていても病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校だけでなく、保護者からの相談も受け付けておりますので、ぜひご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 鈴木 TEL 243-2624

***お手数ですが、貴校全職員への回覧をお願いいたします。**